

Contents

- Enjoy! Arts & Entertainment
- 01 エンタメ革新!? デジタルアートの世界へ
- 05 WALK ON 伝説と歴史の舞台を歩く 虎姫 長浜市
- 06 Recommended File 今月のオススメ 魚松 信楽店 甲賀市
- KEIBUN友の会員特典のご案内
- 07 イベント/シネマ/アート/スポーツ/ゴルフ/旅行/レジャー/健康/カルチャー/グルメ
- 25 プレゼント/Reader's Letters

●表紙【Amazing! Museum~感動空間への招待②】  
旧王宮博物館(ポーランド)

ワルシャワ旧市街地にある旧王宮を博物館として公開。第二次大戦中にナチスにより破壊されたが、1988年に13世紀頃の姿で再建された。部屋は美しい装飾が施され、破壊を免れた調度品、絵画などを展示、歴代王の肖像画も圧巻!

湖国の Illumination & Light Up 年末年始編  
イルミネーション ライト アップ

- 大津市** びわ湖大津館2015イルミネーション「光の庭のROSE FANTASY」  
2015年12月1日(火)~2016年2月14日(日)※1月は1/1~3、土日祝のみ  
柳が崎湖畔公園、びわ湖大津館周辺およびイングリッシュガーデン
- 草津市** イルミネーション in みなみくさつ★ワンダーランド  
2015年11月28日(土)~2016年1月11日(月・祝)  
JR南草津駅西口・東山道記念公園
- 守山市** もりやま冬ホテル  
2015年11月21日(土)~2016年1月31日(日)  
守山駅前緑地公園、あまが池親水緑地公園
- 東近江市** 八日市商工会議所青年部「East Rainbow☆」  
2015年11月28日(土)~2016年1月22日(金)  
近江鉄道八日市駅前~グリーンロード~東近江市役所、八日市コミュニティセンター ほか
- 石塔町** ベットボトルイルミネーション  
2015年11月29日(日)~2016年1月3日(日)  
竹の鼻文化センター横・草の根広場

~感性を磨く、感動を見つける~  
**Enjoy!**  
Arts & Entertainment

ほんの少しの好奇心と最初の一歩を踏み出す勇気—  
扉の向こうにあなたの知らない素敵な世界が広がります

エンタメ革新!?  
デジタルアートの  
世界へ

東京駅や大阪城などの建造物に立体感のあるCG映像を投影するプロジェクションマッピング(3Dマッピングともいう)が大きな話題となり、テーマパークやイベントでも催されるようになった。ライトアップやイルミネーションなど、これまでの照明演出の域をはるかに超えた、新しいエンターテインメントの映像コンテンツとして、デジタルアートの可能性に注目してみよう。



エンタメ革新!? デジタルアートの世界へ

冬を彩るナイトマジック!!

大阪・光の饗宴2015

2015年11月29日(日)~2016年1月17日(日)

フランス・リヨンのリュミエール祭を参考に、2013年冬からスタートした「大阪・光の饗宴」が今年も開催されます。大阪の夜を彩る「光のミュージアム」は見どころがいっぱい!

Core Program

OSAKA 光のルネサンス2015

2015年12月12日(土)~25日(金)  
17:00~22:00 ※一部コンテンツは16:00~  
大阪市役所周辺~中之島公園

大阪市中央公会堂では、プロジェクションマッピング作品の「WONDER VOYAGE-時空の旅-」と、「光☆絵」~ひとが繋がる まちが繋げる 明日へふみだす~を上映。また、大阪府立中之島図書館では過去に人気を博した「ウォールタペストリー」が新たな作品で特別公演を開催します。



©Festival of the Lights in Osaka Executive Committee

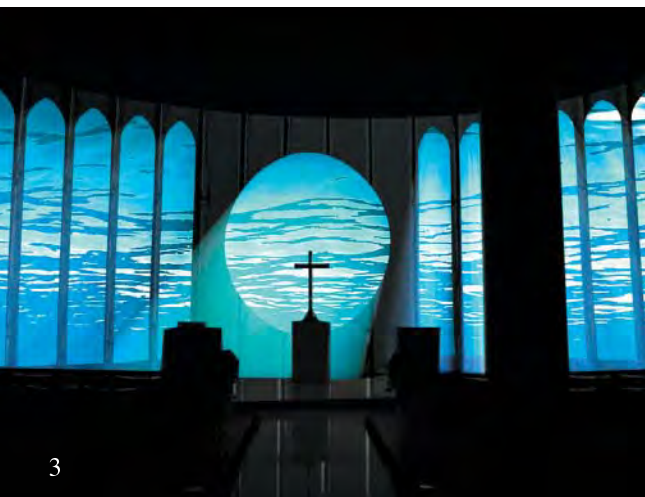
御堂筋イルミネーション2015

2015年11月29日(日)~2016年1月17日(日)  
17:00頃~23:00  
御堂筋(阪神前交差点~難波西口交差点)

2015年1月「最も多く街路樹にイルミネーションを施した通り」として世界記録に認定された御堂筋イルミネーション。今年度はさらに梅田まで延伸して全長約4kmの御堂筋全体を圧倒的な光で彩ります。

©Festival of the Lights in Osaka Executive Committee

※エリアプログラムも充実。詳しくは公式サイト <http://www.hikari-kyoen.com/> をご覧ください。  
●お問い合わせ/大阪・光の饗宴実行委員会事務局  
TEL.06-6910-1156



琵琶湖ホテルのチャペルに常設されたプロジェクションマッピングが新郎新婦の門出を祝う

Step 1  
新時代の映像表現!

建造物をスクリーンに  
物語性や世界観のある  
映像を投影する

2012年9月、JR東京駅丸の内駅舎保存復元工事完成記念のイベントで披露された、当時はまだ耳慣れない「プロジェクションマッピング」という技術は、訪れた観客の度肝を抜いた。本来は動かない現実の建造物に、ある物語性や世界観をもったバーチャル映像をシンクロさせることで、摩訶不思議な空間演出を実現させた。この出来事は映像文化の新時代を告げるエポックメイキングとなった。

この技法はまたたくまにメディアを席巻し一大ブームに。新たな集客方法として話題となり、各地のランドマークや有名テーマパークでの上映をはじめ、身近なイベント、広告でも私たちの目に触れるようになった。



「京の七夕」のウォーターアートプロジェクション

体物などあらゆるものが対象になる。

身近な京都を例に見てみると、京都観光の新たな名所「京都水族館」では、関西の水族館初の3Dプロジェクションマッピングが話題になった(現在はイベント終了)。透過性のスクリーンに投影される映像と水槽の中に暮らす生き物とのコラボレーションが入館者を驚かせた。古都の新しい夏の風物詩として、毎年8月に開催の「京の七夕」では、今年の新コンテンツとしてウォーターアートプロジェクションが登場。鴨川べりに特設されたウォー

ビデオやコンピュータを使ったメディアアートそのものは目新しいものではないが、プロジェクションマッピングのように多くの鑑賞者を対象に大規模なパフォーマンスを可能にしたり、鑑賞者を何らかの方法で参加させてアートとの関係にインタラクティブ性(双方向性)を持たせたりするなど、デジタル技術は芸術の表現という概念を大きく変えたともいえるだろう。

Step 2

その魅力と楽しみ方

デジタル技術の進化と  
クリエイターの表現力を  
堪能しよう!

プロジェクションマッピングのプロジェクションは「投影する」、マッピングは「貼り付ける」という意味。スクリーンとなる対象物の立体情報(寸法や奥行など)に合わせて、立体感のあるコンピュータ・グラフィック(CG)映像を制作し、特殊な技術で音楽などの音響効果に合わせて投影する斬新な映像表現で、建築物なら窓やブロックなどパーツの凹凸を利用し、投影した映像が変化することで、現実の対象物が本当に動いているかのように見える。迫力のある映像が最大の魅力である。

マッピングするのは、もちろん屋外の建造物だけでなく、空間や平面、小さい立体的なスクリーンに七夕の物語にちなんで幻想的な映像を投影し、ロマンチックな京都の夏の夜を演出した。

この秋には、日本絵画の一派である琳派、400年を記念して、京都国立博物館で「大琳派祭プロジェクションマッピング」が開催された。伝統的な芸術と現代技術が結びつき、金や銀を用いた琳派ならではの美意識を精鋭のクリエイターたちが現代によりみえらせた。期間限定のイベントが多いが、機会があれば最先端のデジタル技術を駆使した躍動感あふれる映像をたっぷり堪能してほしい。立体物の造形を巧みに活かしたクリエイターの遊び心に注目するのもいいし、テーマが地域の歴史や伝統に関連した作品ならその物語も楽しんでみよう。そして、多くの人たちが同じ場所で一体となって観るライブの高揚感が最高ののだ。

Step 3

広がる新たな可能性

オペラの舞台美術や  
結婚式の演出にも...  
ますます目が離せない!

プロジェクションマッピングは、集客力が期待される観光コンテンツとして、地方都市でも注目されている。将来的には夜景やイルミネーションに並ぶ観光資源になるかもしれない。

大津市の琵琶湖ホテルでは、結婚式の挙式スタイルとして、チャペルにプロジェクションマッピングを常設している。式場の壁面やスクリーンに、琵琶湖をイメージした水の映像や大自然の風景が映し出され、新郎新婦が神父のもとで誓いの言

空間と映像が融合する  
プロジェクションマッピング!

葉を交わすと、スクリーンが上昇し、窓の外に実際の琵琶湖の風景が広がるという仕掛け。「お二人の思い出や参列者の祝福の気持ちを最新のプロジェクションマッピングを使用し、驚きと感動の演出をお届けします」とプライダル担当者。

また、びわ湖ホールが2012年から取り組んだ地域大連携オペラ創造プロジェクトでは、成安造形大学の学生たちが舞台美術用映像を制作し、昨年12月の喜劇「天国と地獄」(オッフェンバック作曲)でのプロジェクションマッピングが話題になった。同時期、彦根市のビバシティ彦根でも産学連携プロジェクトとして立命館大学映像学部の学生たちが担当したプロジェクションマッピングが壁面に投影され、クリスマスの聖なる夜を彩った。デジタルアートの世界は広がりが続いている。



京都水族館の3Dプロジェクションマッピング(イベント終了)。魚たちが泳ぐ大水槽から実物大のジンベエザメが飛び出す!(写真提供/京都水族館)



京都市立芸術大学美術学部美術科構想設計専攻卒業(芸術学士)。同大学院美術研究科絵画専攻造形構想修了(芸術学修士)。現在は成安造形大学教授。専門分野はメディアアート(パフォーマンス、インスタレーション)。ダムタイプ所属。

# 成安造形大学 学部長・教授 泊博雅

## Close Up Interview

昨年度、プロジェクトシモンマツピングを使ったオペラ『天国と地獄』がびわ湖ホールと県内3か所のホールで上演された。舞台中央に据えられた真っ白な凱旋門のセットに、実物の凱旋門の写真を投影したり、天国のシーンでは門に雲が流れたり、3Dアニメーションで骸骨が出てきたり。場面に合わせて次々

と繰り出される映像で舞台を盛り上げた。この映像を制作したのは成安造形大学の学生たち。びわ湖ホールと大学が連携して3年をかけて実現させた一大プロジェクトだ。

「学生が4つのチームに分かれて全4幕の映像をつくりました。場面転換などのつなぎのシーンが一番面白く使えまし

た。通常の舞台セットだと移動するのがたいへんですが、映像だと一瞬で場面転換ができますから。あくまでも背景として、オペラの声々をつぶさないよう、派手に突出しすぎないよう心がけました。学年によって技量

## オペラの舞台美術にも 映像表現はまだまだ進化中!

にばらつきがあるため、プロジェクトシモンマツピングとしてはシンプルなものでしたが、いい経験になりました」と、指導を担当した泊博雅さんは当時を振り返る。

「デジタルの技術以外の部分でも苦労しました。オーケストラの生演奏にタイミングを合わせるのが難しかったり、それぞれの会場の規模が違うのでプロジェクトを据える場所に制約があったりと課題は山ほどありましたが、きちんと作り込みすぎず、後から融通が利くように映像をループ再生にするなどの工夫をして対応しました」

この公演の好評を受けて、今年12月びわ湖ホールでのオペラ公演『ルサルカ』では、成安造形大学の学生たちが学外で自主制作した映像が再び登場する。

「今までは美術的・建築的なデザインの作品が多かったのですが、今後はストーリーを語るような使われ方も増えていくと思います」と泊さんは話す。

進化し続ける映像表現。私たちも新しい舞台表現を体感せずにはられない。



「地域大連携オペラ創造プロジェクト」は、びわ湖ホールが2012年から県内の地域や学校との交流・連携を図り、総合舞台芸術であるオペラの本格的な公演を3年目に実施する取り組み。その集大成として昨年度『天国と地獄』がびわ湖ホールと県内3か所のホールで上演された。

### Information

びわ湖ホールオペラへの招待  
ドヴォルザーク作曲 歌劇『ルサルカ』

12月12日(土)・13日(日)各14:00開演

- 会場／びわ湖ホール中ホール
- 指揮／大勝秀也 ■演出・訳詞・お話／中村敬一
- 映像／成安造形大学、大内清樹(成安造形大学)
- 管弦楽／日本センチュリー交響楽団
- 出演／びわ湖ホール声楽アンサンブル
- 料金／一般4,000円 青少年(25歳未満)2,000円

お問い合わせ／  
びわ湖ホールチケットセンター TEL.077-523-7136

▲『天国と地獄』の舞台より  
天国の場面では雲が流れる映像が  
▶フィナーレでは映像を制作した学生が  
舞台上に登場  
(写真提供／成安造形大学)

